

平成24年度

事業報告書



目 次

事業総括	2
I 企画調整部門	
1. 総務係	3～8
2. 地域福祉係	9～20
II 総合相談・支援部門	
1. 尾鷲市地域包括支援センター	21～31
2. 紀北障がい者総合相談支援センター「結」	32～40
III 介護サービス部門	
1. 居宅介護支援事業所	41～42
2. 訪問介護事業所	43～45
3. 訪問入浴事業所	46
4. 尾鷲通所介護事業所「いきいき」	47～48
5. 輪内通所介護事業所	49～50
IV 輪内高齢者サービスセンター	51～52

事業総括

円安・株高の流れが続いている。昨年に発足した自民党・安倍政権が掲げる「アベノミクス」の影響であり、アベノミクスが日本経済を復活させるかもしれないという期待感が高まっています。

確かに全国的には、昨年末から今年に入り、デフレからの脱却を設定し、物価上昇と円安へと誘導され、その効果もたらされているような景況となっておりますが、当地域には縁遠い存在となっております。また、アベノミクスが福祉施策にも反映されているのか、反映が期待できるのかという点と不透明なところがあります。

このような背景の中、本会は、事業計画に基づき、地域福祉を有効的かつ効率的に事業を推進してきました。

地域福祉係では、地域住民による見守り態勢と助け合いのネットワークづくりとして「地区福祉委員会」の活動しやすい態勢づくりに努めており、この活動はすでに定着しつつあり、昨年度は、高齢者だけではなく、世代間交流を行うなど、世代を超えたつながりに結び付けています。また、年に一度開催の「市社会福祉大会」における新たな取り組みとして、小中学生に福祉を身近に感じてもらうため、標語や作文等を募集し、福祉大会を発表の場としました。

地域包括支援センターにおいては、高齢者が安心して生活できる街づくりをめざし、保健・医療・福祉サービスをはじめとした多様な支援を包括的にかつ継続的に支援を行ってきました。新たな取り組みとして、当地方でも増加傾向にある認知症高齢者の支援として、医療機関と連携を取ることで支援体制を整えました。

一方で、広報誌『包括だより』を発行するとともに、出前講座を積極的に開催し、介護予防等の説明や講話会を行い、当センターの周知と予防の認識及び気軽な利用への呼びかけに努めました。

障がい者総合相談支援センター『結』では、障がい者のライフステージに応じた生活を支援するために、地域相談支援を強化するとともに、昨年度からスタートした「計画相談」に着手し、支援のための職員体制も整えました。

一方、介護保険事業においては、需要と供給が飽和状態となっている訪問介護をはじめ、デイサービスなど、全体に実績が伸び悩んでおり、職員に対して現状を再認識し、新たな利用者の獲得の方法などの検討に努めるとともに、介護事業所の経営改善について、次年度には、収支等の検証に加え改善に向けての対応に着手していくことにしています。

近年の介護保険事業の厳しい状況の中で、本会の運営や事業は、大きな影響を受けていますが、今後も関係機関・団体との連携をより強化し、地域福祉推進のため事業計画に基づく施策について積極的に展開していきます。

I 企画調整部門

1 総務係

1. 会務の運営

適正な法人運営と事業の円滑な事業推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

(1) 理事会

第1回 平成24年4月1日 尾鷲市福祉保健センター
出席者 11名

- ① 会長、副会長の選任について

第2回 平成24年5月24日 尾鷲市福祉保健センター
出席者 11名

- ① 平成23年度事業報告書（案）について
- ② 平成23年度決算報告書（案）について
- ③ 平成24年度第1回補正予算書（案）について
- ④ 「嘱託職員の雇用等に関する就業規則」の一部変更について
- ⑤ 「日額・時給等職員の雇用等に関する就業規則」の一部変更について
- ⑥ 評議員の一部変更について

第3回 平成24年10月25日 尾鷲市福祉保健センター
出席者10名

- ① 平成24年度 第2回補正予算書（案）について
 - ② 評議員の改選（案）について
- 報告：職員給与規程の改正について

第4回 平成25年1月31日 尾鷲市福祉保健センター
出席者11名

- ① 平成24年度 第3回補正予算書（案）について
- ② 評議員の改選（案）について

第5回 平成25年3月28日 尾鷲市福祉保健センター
出席者11名

- ① 平成24年度第4回補正予算書（案）について
- ② 平成25年度事業計画書（案）について
- ③ 平成25年度当初予算書（案）について

- ④ 苦情解決事業第三者委員の委嘱（案）について

(2) 評議員会

第1回 平成24年5月24日 尾鷲市福祉保健センター
出席者 26名

- ① 平成23年度事業報告書（案）について
- ② 平成23年度決算報告書（案）について
- ③ 平成24年度第1回補正予算書（案）について
- ④ 「嘱託職員の雇用等に関する就業規則」の一部変更について
- ⑤ 「日額・時給等職員の雇用等に関する就業規則」の一部変更について

第2回 平成24年10月25日 尾鷲市福祉保健センター
出席者 21名

- ① 平成24年度 第2回補正予算書（案）について

第3回 平成25年1月31日 尾鷲市福祉保健センター
出席者 23名

- ① 平成24年度 第3回補正予算書（案）について

第4回 平成25年3月28日 尾鷲市福祉保健センター
出席者 22名

- ① 平成24年度第4回補正予算書（案）について
- ② 平成25年度事業計画書（案）について
- ③ 平成25年度当初予算書（案）について

(3) 監事監査

- ① 平成24年5月7・8日 尾鷲市福祉保健センター 監事2名
平成23年度1月～3月 定期会計監査
平成23年度の事業及び決算についての監査
- ② 平成24年8月9日 尾鷲市福祉保健センター 監事2名
平成24年度4月～6月 定期会計監査
- ③ 平成24年11月9日 尾鷲市福祉保健センター 監事2名
平成24年度7月～9月 定期会計監査
- ④ 平成25年2月9日 尾鷲市福祉保健センター 監事2名
平成24年度10月～12月 定期会計監査

(4) その他の監査

- ① 平成25年1月30日 財政援助団体等監査
(尾鷲市監査事務局)

2. 事務局体制の強化

(1) 職員体制の配置

正規職員 2名登用試験を行った。(平成25年4月より登用)

嘱託職員 5名採用試験を行った。

日額職員 1名採用試験を行った。

(参考：平成24年度 正規・嘱託・日額 退職者数10名)

・適正な人事異動の実施

(2) 福祉関係資格取得の奨励及び、各種研修会への参加

① 資格取得の状況(新規)

・精神保健福祉士 1名

・介護支援専門員 1名

・介護福祉士 2名

② 研修会への参加と開催

県社協の実施する役職員セミナーや専門、職種別研修会に積極的に参加した。社会福祉従事者としての自覚、使命感を育て問題解決能力を養うための自己啓発の促進として、下記の経験や役職に応じた体系的な研修に参加した。

・新任職員研修 1名

・中堅職員研修 4名

(3) 事務の効率化

① 文書処理簿、時間外勤務などのパソコン処理合理化

② 会計・給与ソフトの各事業所間のオンライン化

③ 介護保険関係ソフトの検討

(4) 活動基盤の改善・充実

① 職員給与規程の改正

② 嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部変更

③ 日額・時給等職員の雇用等に関する就業規則の一部変更

(組織図)

3. 災害時における避難者安全確保体制

(1) 防災訓練の実施

日時：平成24年9月2日 9時～11時

場所：尾鷲市福祉保健センター

内容：地元自治会の避難受入、自動施錠ボックスの説明
防災講演会（名古屋大学准教授 田所敬一氏）

(2) 避難所開設

日時：平成24年9月30日 台風17号

避難者：9名

4. 地域福祉財源の確保

(1) 補助事業・委託事業などの公的助成の確保

(2) 自主財源の確保

① 善意銀行の運営

市民の善意により、現金物品が寄贈された。

現金： 一般預託	29件	2,625,674円
指定預託	4件	400,000円
合計	33件	3,025,674円
※前年度合計	24件	1,108,310円

物品：車いす2台



5. 福祉団体活動支援

(1) 老人クラブ活動の推進と支援

老人の健康、生きがいなどの福祉の向上を図るとともに 社会奉仕活動への積極的な参加促進を支援した。

① 老人クラブ連合会活動の支援

30クラブ・会員数 1,695名

② 老人の社会奉仕活動への参加促進の支援

③ 高齢者友愛訪問活動への支援

④ 尾鷲市福祉保健センターを活用した各種講座の開催

年度	講座数	延べ参加人数
平成22年度	9講座	3,229名
平成23年度	10講座	3,276名
平成24年度	10講座	3,472名

(2) 遺族会の支援

遺族会活動の支援と尾鷲市戦没者追悼式を共催した。

尾鷲市戦没者追悼式 尾鷲市との共催

日 時：平成24年6月17日

場 所：尾鷲市民文化会館

参列者：250名

6. 苦情解決事業の推進

苦情解決体制の一層の充実を図り、第三者委員をはじめ地域住民からの苦情の汲み上げるとともに、苦情に対する職員の意識を高め、サービスの質の向上に取り組んだ。

① 苦情解決体制の構築

- ・ 苦情解決責任者の設置 事務局長
- ・ 苦情受付担当者の設置 総務係長
- ・ 第三者委員の設置 4名委嘱

② 苦情解決事業第三者委員会の開催（苦情報告）

日 時：平成24年8月1日

場 所：尾鷲市福祉保健センター1階 ボランティア室

参加者：第三者委員 4名 事務局 2名

③ 苦情解決事業第三者委員研修会への参加

日 時：平成24年9月5日

場 所：津市リージョンプラザ

内 容：講演「福祉サービスの中に潜んでいる様々な法的問題」

講師 弁護士 熊田 均氏

④ 苦情件数 苦情総数

苦情の内容	平成24年度	前年度
ケアの内容に関わる事項	0	0
個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0
財産管理・遺産・遺言等	0	0
制度・施策に関わる事項	0	0
その他（職員の言動・交通マナー）	3	1
本会以外への苦情等	0	0
合 計	3	1

2 地域福祉係

1. 赤い羽根共同募金運動の推進、基盤強化

民生委員児童委員、自治会、婦人会など多くの関係者の協力を得て、募金運動を推進した。

(1) 一般募金運動（強化月間：平成24年10月1日から2カ月間）

募金実績

単位：円

	平成24年度	前年度	前年比較
目標額	3,497,200	3,754,300	▲257,100
実績額	3,371,219	3,417,869	▲46,650
達成率	96.4%	91%	

募金種別による内訳

単位：円／件

	平成24年度		前年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
戸別募金	2,199,822	4,532	2,252,266	4,714	▲52,444	▲182
法人募金	734,000	118	737,000	121	▲3,000	▲3
街頭募金	85,193	1	80,195	1	4,998	—
学校募金	57,661	7	50,015	5	7,646	2
職域募金	140,352	10	129,843	10	10,509	—
イベント募金	75,244	5	119,495	8	▲44,251	▲3
ハーフバンダー	16,726	1	15,136	1	1,590	—
募金箱・その他	62,221	11	33,919	22	28,302	▲11
合計	3,371,219	4,685	3,417,869	4,882	▲46,650	▲197



(尾鷲イタダキ市での募金活動)

(2) 募金配分金による事業の充実

- ①世代間交流事業（二次配分事業） 5団体 15万円助成
- ②障がい児者団体への配分金事業 1団体 5万円助成
- ③老人クラブ連合会（友愛訪問活動） 25万円助成
- ④おしゃべりほのぼのサロン事業

(単位：名)

市町 月	尾鷲 (第1週)	尾鷲 (第3週)	九鬼	早田	須賀利
4月	—	10	9	14	6
5月	—	12	4	11	7
6月	6	6	11	12	7
7月	7	10	9	12	6
8月	—	—	—	—	—
9月	11	8	10	11	7
10月	11	9	11	7	5
11月	12	11	12	10	4
12月	9	11	—	5	7
1月	—	6	11	8	6
2月	9	8	12	8	6
3月	11	—	9	6	6
のべ人数	76	91	98	104	67

⑤福祉協力校支援事業の実施

(福祉協力校の指定と助成)

福祉協力校<小学校：7校、中学校：2校、高校1校、特別支援学校：1校計11校>を指定し、福祉教育の活動への助成（1校5万円以内 総額50万円）を10校に行った。

(福祉協力校連絡会議)

開催日：平成24年6月19日

(天候不良のため中止、個別に学校訪問を実施)

(福祉教育事業への協力)

・福祉体験教室の開催

内容：車椅子体験、高齢者疑似体験、視覚障がい者・点字体験、福祉保健センター見学

実施校：尾鷲小学校、宮之上小学校、輪内中学校

- ・その他の福祉協力校活動の推進・支援
各種福祉関係行事への参加・募金や収集活動・清掃や地域の高齢者との交流など、具体的な取り組みに対する調整と助言を行った。

2. 小地域福祉活動事業

(1) 地区福祉委員会の活動支援

①地区福祉委員会合同座談会の開催

市内17地区の福祉委員会を3ブロックに分けて委員同士の情報交換と配食サービスに必要な衛生管理について研修を実施した。

(第1回)

開催日：平成24年7月19日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

地 区：中村町・坂場・宮ノ上座ノ下・須賀利・野地町 21名参加

(第2回)

開催日：平成24年7月25日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

地 区：三木浦・賀田・三木里・古江・梶賀・曾根 23名参加

(第3回)

開催日：平成24年7月26日

場 所：三木里コミュニティーセンター

地 区：矢浜・九鬼・泉・早田・新田 11名参加

②地区福祉委員代表者懇談会の開催

福祉委員会代表者が抱える問題の共通理解と早期解決を目的に開催した。

開催日：平成24年6月7日

場 所：尾鷲市福祉保健センター 14名参加

内 容：地域の人材発掘のための紹介カードの活用
各地区の活動報告ほか

③活動助成金の交付

- ・前年度賛助会費から（社協会費50%）の助成
- ・基本助成（2万円）および各活動に伴う助成金交付

④高齢者ふれあいサロン、あったかふれあい訪問活動、世代間交流事業
の実施 (単位：回／名)

地区福祉委員会	訪問		サロン		世代間交流	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
三木浦	6	830	3	195	2	200
賀田	2	153	—	—	—	—
矢浜	2	348	—	—	—	—
倉の谷	2	135	3	116	1	50
中村町	3	249	2	49	1	20
三木里	3	262	—	—	—	—
古江	3	376	1	124	—	—
梶賀	4	200	3	52	—	—
坂場	4	288	—	—	2	16
曾根	2	120	2	120	—	—
九鬼	1	185	2	159	—	—
宮ノ上座ノ下	2	138	8	242	2	157
泉	1	34	1	21	—	—
早田	5	275	1	12	—	—
須賀利	2	156	1	70	—	—
野地	2	96	3	79	—	—
新田	7	538	1	21	—	—
【未結成地区】						
北浦町	2	135	—	—	—	—
中井町	2	88	—	—	—	—
港町	2	77	—	—	—	—
天満	1	45	—	—	—	—
中川	1	37	—	—	—	—
24年度	訪問	22地区	59回	4,765名		
	サロン	13地区	31回	1,260名		
	世代間	5地区	8回	443名		
前年度	訪問	20地区	49回	3,865名		
	サロン	12地区	23回	1,113名		
	世代間	3地区	4回	338名		

(2) 地域交流推進事業〈地域研修会〉の実施（三重県社協共催事業）

地域のシニア世代（60歳以上）の方々に対して、いきいきと生活できるように健康づくりに着目して、研修会を行った。

開催日：平成24年9月25日、10月4日・12日

内 容：「きたるべき三連動地震に備え」

～逃げ足鍛え命守れ 楽しく運動しませんか～

参加者：170名(延人数)

講 師：(財)日本体育協会公認 体操指導員・健康運動実践指導者
梅本みち代氏

(3) 住民懇談会の開催(小地域安心生活支援モデル構築事業)

三重県社協の助成を受けてコミュニティーの再生と形成を目的に市内でモデル地区を指定し、地域が支え合う住民福祉の向上を図り、地区福祉委員会結成に向けての関係づくりを行った。

開催日：平成24年6月20日

地 区：光ヶ丘

参加者：民生委員児童委員、自治会長、社協ほか 9名参加

3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンターの効果的な運営

①市内ボランティア団体への情報提供

②コーディネーターによる団体への相談支援とボランティアセンターの
機材等の整備

③安全な活動環境の支援として、ボランティア活動保険および行事用保険
加入促進と保険料の一部助成

(ボランティア活動保険 加入件数1,040名)

(ボランティア行事用保険 延べ54団体、81事業開催)

④ボランティアグループへの助成実施

(1団体2万円を13団体に助成。総額26万円)

⑤「アイデア力」&「コミュニケーション力」研修会の開催

(小地域安心生活支援構築モデル事業)

協働型ボランティアセンターの設置の足掛かりとして、各団体の日頃の悩みを解決し、「アイデア」と「コミュニケーション」の力を向上させるとともに、各団体が交流することで連携づくりを図った。

開催日：平成25年3月13日・14日 基礎編

平成25年3月27日 応用編

講 師：NPO法人 Mブリッジ理事長 米山哲司氏

⑥福祉施設協働事業の実施

「紀北作業所夕涼み会」への参加協力 平成24年8月23日

(2) 各種行事の開催と人材育成

子どもたちの夏休みを活用して、福祉上映会を開催し、社会福祉協議会事業のPRを行った。また、この上映会を成功させていくために、地域の個人ボランティアや、高校生ボランティアを巻き込み、開催することができた。

①夏休みこども行事（防災教育事業）

開催日：平成24年8月5日 ちびっこぼうさい広場
防災フェアを開く市防災危機管理室との合同開催
防災フェアの来場者数：450名

②子ども映画上映会の開催

開催日：平成24年7月31日 午前午後の2回公演を実施
参加者：午前76名、午後100名
内 容：「怪盗グルーの月泥棒」
ボランティア：24名（高校生ボランティア）

③子ども電気教室

開催日：平成24年8月23日
参加者：13名
ボランティア：6名



④映画上映・もちつき大会

開催日：平成24年12月8日
参加者：55名
内容：「パンダコバンダ雨ふりサーカス」鑑賞後、親子でもちつき大会を行った。
ボランティア：27名（一般ボランティア、高校生ボランティア）

⑤おわせ社協子ども講座

・フラワーアレンジメント教室

開催日：平成25年2月17日

参加者：19名

・ちよびつと茶道教室

開催日：平成25年3月9日

参加者：12名

(3) ボランティア団体支援・協力

・介護事業施設職員・地域サロン活動担い手研修の開催

「むっそうええ会」活動の共催で、広報・窓口として協力した。

すぐ使える効果的なレクレーションの素材・製作方法を学び、職場や地域活動の場で活かせるものを学んだ。

開催：平成24年6月13、18、20日の3日間開催

参加者：事業所・施設6、地区福祉委員会2 延べ48名

(4) 各種研修会参加による技術の習得

①ボランティアコーディネーター養成研修【基礎編】(三重県社協)

目的：ボランティアコーディネーターに必要な知識、技術、価値(視点)の基礎習得

開催日 第1回：平成24年 7月27日

第2回：平成24年 8月24日

第3回：平成24年 9月21日

第4回：平成24年10月26日

第5回：平成24年11月30日

第6回：平成24年12月21日

②第21回全国ボランティアフェスティバルみえ

「三重から見える 未来の絆」

目的：東日本大震災で再認識された「絆」の力や、過去からの成果を「未来」へ繋ぐ

開催：平成24年9月29・30日

参加者：2名(スタッフとして)

4. 社協会員制度の推進

理事・評議員、民生委員児童委員、地区福祉委員などとの連携により、社協活動への参加・協力を呼びかけ、会員の確保に努めた。

単位：円

	人数	金額	前年度
賛助会員	1,521名	1,657,000	1,683,000
特別会員	48名	340,000	345,000
団体等	1団体	20,000	20,000
総数	1,570名	2,017,000	2,048,000

5. 総合相談の維持

- (1) 一般相談（各部門担当による常時相談・電話相談・訪問相談）
 ※高齢者・障がい者相談＝各相談センターにて実施集計
- (2) 専門相談 弁護士による法律相談：毎月第3水曜に実施
 (年間相談件数31件)

6. 貸付事業（自立更生のための貸付事業）

- (1) 生活福祉資金（県社会福祉協議会）の貸付状況
- ① 24年度中の完済数（4件 緊急小口資金4件）
 - ② 24年度中の新契約数（4件 緊急小口資金4件）
 - ③ 継続返済数
 - 教育支援費 11件
 - 福祉費 2件
 - （障がい者自動車購入費）1件
 - （障がい者住宅改修費）1件
 - 技能習得費 1件
 - 緊急小口資金 2件
- (2) 福祉金庫の貸付
- ① 新規緊急貸付 6件（前年度11件）
 - ② 滞納者の返済状況

未納者の状況	人数
全返済滞納者数（予定期限内に返済が済んでない方）	25名
不定期であるが、返済をしている方	1名
返済は可能な状況と判断できるが、返済が滞っている方	15名
①今年度1回以上の返済があったが、途中で滞ってしまった方	(8名)
②今年度全く返済実績のない方	(7名)

保証人によって返済がされている方	1名
保証人によって返済する約束だが滞っている方	1名
体調不良や諸事情により、経過観察又は保留の方	4名
詳細が全く掴めず、行方不明の方	1名
所在が明らかだが、かなり遠方のため対応に苦慮している方	1名
死亡により損金抹消を行った方	1名

7. 援護事業の実施

(1) 災害に対する援護事業

火災被害への対応 1件（支給金品：見舞金、毛布、日用品）

(2) すこやか事業（児童支援事業）

保育園・幼稚園児のすこやかな成長を願い、5月5日のこどもの日に合わせて菓子をプレゼントした。対象者 527名（前年度547名）

(3) 小学校卒業記念品贈呈事業（一人親支援事業）

一人親家庭小学校卒業生に対する激励対象者 36名（前年度 40名）

8. 日本赤十字事業への協力

自治会・奉仕団（婦人会ほか）などの協力で、次のように赤十字運動を推進した。

(1) 募金運動の推進 平成24年5月1日～5月31日までの1ヶ月間実施

単位：円

	平成24年度	前年度	前年比較
目標額	3,145,000円	3,198,000円	▲53,000円
実績額	2,784,500円	2,785,639円	▲1,139円
達成率	88.5%	87.1%	

(2) 赤十字救急法の開催

開催日：平成24年7月21日・22日・28日 計3日間

場 所：尾鷲市福祉保健センター

受講生：17名

9. 福祉団体活動支援

当事業者団体の「身体障がい者互助会」の年間活動行事の充実や活動強化に協力をした。

10. 各種大会の開催

(1) 第24回尾鷲市社会福祉大会の開催

開催日：平成24年12月2日

場 所：尾鷲市中央公民館

参加者：約150名

〔第一部：顕 彰〕

- ・尾鷲市長表彰
 - 民生委員児童委員功労者 8名
 - 社会福祉施設・社会福祉団体功労者 6名
 - 社会福祉活動優良地区および団体 2団体
- ・尾鷲市長感謝 1名
- ・尾鷲市社会福祉協議会長表彰
 - 社会福祉施設・社会福祉団体功労者 8名

〔第二部：福祉作品コンクール表彰及び発表〕

- ・作文 小学生の部、中学生の部
- ・標語の部(小学生及び中学生を合同で審査)
- ・絵画 小学生の部、中学生の部

(2) 尾鷲市ふれあいスポレク祭2012の開催

地域の障がい者の地域交流の強化に取り組んだ。

開催日：平成24年11月4日

場 所：東紀州くろしお学園尾鷲分校体育館

参加者：250名

内 容：各種目の実施、模擬店・販売

参加団体：ボランティア団体、福祉協力校、尾鷲市連合婦人会
障がい者支援施設・作業所、民生委員児童委員協議会

11. 子育て支援事業

各関係機関を情報の共有と協働を図り、地域に住む子育て世代の住みやすい街づくりをめざすために行った。

①子育てグッズ 無料レンタル

(チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッド)

- ②子育て応援 リサイクル（自宅で不要になった物品の仲介）
- ③子育てママの仲間づくりや遊び場としての、児童コーナーの自由開放デー開催
第2土曜日(13:30～15:00) 第4月曜日(9:30～11:00)に実施
- ④福祉関連書籍・子育て情報コーナーの充実と絵本の貸出
1階の市民ロビーに情報コーナーを設置し、市内の子育て情報の周知、絵本などの貸出などを行った。



(児童コーナーの自由開放)

12. 尾鷲市福祉保健センターの利用促進と効果的な運営

福祉・保健活動の総合拠点施設として、研修や交流、健康づくり、市民の社会参加の場として、市民が利用しやすい環境を整備し、センターの管理運営を適正に行った。

尾鷲市福祉保健センター利用実績

単位：回／人

	利用回数	利用数
4月	182	3,839
5月	173	3,203
6月	174	3,232
7月	187	3,509
8月	163	3,336
9月	175	2,818
10月	180	2,611
11月	193	3,182
12月	140	3,488
1月	169	3,518
2月	190	3,167
3月	201	3,813
延べ	2,127	39,716
前年度	2,548	49,630

平成23年度は尾鷲市小学校改修工事に伴い、学童保育「わんぱく教室」の仮設による実績が増加したが、平成24年度は改修工事完了により「わんぱく教室」も仮設終了し実績が減少した。

13. その他の事業

広報啓発活動の実施（市広報誌や新聞を通じた広報活動）

- ①社協だよりの発行（年4回、各11,700部）
- ②ホームページの作成

14. 地域福祉権利擁護事業の受託実施

地域包括支援センター、障がい者総合相談支援センター及び関係機関と連携を取り、積極的な対応を心掛けた。利用者と信頼関係の構築を継続し、安心できる適切な金銭管理・書類預かりサービスを実施した。

平成24年度実績

単位：件

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
相談件数	101	134	168	34	437	392
新規契約	2	0	2	1	5	6
解約件数	3	0	1	1	5	3

利用者数

単位：件

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
契約件数	4	16	9	6	35	35

II 総合相談・支援部門

1 地域包括支援センター

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援

①総合相談窓口の設置

相談内容に応じたサービスや制度の利用支援・情報提供及び関係機関等の紹介等支援を行なった。

相談受付件数：平成24年度 527件 前年度402件

相談区分集計〈延べ件数〉

	介護・日常生活等	サービス利用等	医療に関する内容	所得等に関する	その他	苦情等	権利擁護に関する	合計
累計	440	145	30	12	14	10	19	670

②地域包括支援センターの周知・啓発

「包括だより」の発行 平成24年度 4回

「社協だより」への記載 平成24年度 3回

③地域ケア会議の運営

個別ケースを検討することで、地域の課題を抽出し、解決策を検討するなど地域ケアの総合調整を推進するための必要な支援を行った。

(2) 権利擁護業務

① 高齢者虐待への対応・防止

イ. 高齢者虐待相談窓口の設置

基幹となる尾鷲市福祉保健課と協働で高齢者虐待についての相談窓口を設置し相談の支援を行った。

ロ. 高齢者虐待相談の受理

平成24年度受理件数11件（うち認定2件） 前年度3件

内訳	身体的	心理的	経済的	性的	介護放棄
人数	1	0	0	0	1

② 認知症高齢者への支援

イ. 認知症サポーター養成講座 平成24年度113名 前年度238名

	開催月日	参加人数	場 所
第1回	7月19日	16	特別養護老人ホームあさひ
第2回	7月25日	5	東海労働金庫尾鷲支店
第3回	7月26日	33	特別養護老人ホームあさひ
第4回	10月30日	6	天満・高濱民生委員宅
第5回	11月21日	8	大滝会館
第6回	11月27日	12	くろしお学園セミナーハウス
第7回	11月28日	11	光ヶ丘第一集会所
第8回	2月14日	17	倉の谷集会所
第9回	2月19日	5	尾鷲郵便局



ロ. 認知症地域勉強会

開催月日：平成24年11月17日

参加人数：25名

場 所：古江コミュニティーセンター

講 師：九鬼診療所 田中 公人医師



ハ. 見守りネットワークの構築

徘徊の恐れのある認知症高齢者を地域で支えるため認知症高齢者の情報や対応方法を記載した「見守りお願いシート」を作成、近隣や商店等に配布し個別の見守り体制を築いた。

ニ. 関係機関との連携

徘徊の恐れのある認知症高齢者の情報を「認知症高齢者見守り連絡票」に記載し 尾鷲警察署に登録を行い、警察に保護されたあと速やかに自宅に戻せるよう支援した。 平成24年度 2件

③ 福祉制度等の活用

イ. 地域福祉権利擁護事業の活用

相談の結果、地域福祉権利擁護事業の利用調整（相談斡旋を含む）を行った。

ロ. 成年後見制度の活用

相談の結果、成年後見制度の利用援助（情報提供、申立支援、斡旋を含む）を行った。

平成24年度 5件 前年度 1件

ハ. 出前講座の開催

平成24年度 11件 前年度 7回

開催月日	内 容	参加人数	依 頼 先
6月28日	福祉サービスについて	13	三木里コミュニティーセンター
7月 5日	介護予防について	32	九鬼コミュニティーセンター
7月 7日	介護予防について	8	泉地区福祉委員会
9月 6日	福祉サービスについて	19	九鬼コミュニティーセンター

10月 4日	介護保険制度について	15	九鬼コミュニティーセンター
10月16日	介護予防について	20	向井コミュニティーセンター
10月29日	介護予防について	12	大曾根コミュニティーセンター
10月25日	福祉サービスについて	18	矢ノ浜コミュニティーセンター
11月 1日	認知症について	23	九鬼コミュニティーセンター
11月20日	高齢者と人権	17	尾鷲生涯学習課
12月 6日	成年後見制度について	16	九鬼コミュニティーセンター
	合 計	193	



(3) 包括的、継続的ケアマネジメント支援

①地域包括ケア会議の開催

尾鷲市から委嘱された委員により、介護予防・生活支援サービスや地域ケアの総合調整を推進するため3部会構成により、意見交換や検討を行った。



全体会議

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	6月14日	19	① 委員委嘱状授与 ② 委員自己紹介及び所属機関について ③ 地域包括ケアについて
第2回	3月21日	15	① 各部会からの報告 ② 全体での意見交換 ③ 各部会に分かれて来年度にむけての意見交換

地域生活支援部会

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	8月9日	8	① ケース検討 ～自宅に退院できた末期がん患者とできなかった末期がん患者～

第2回	10月11日	9	① 前回検討の振り返り ② 退院後の地域ケアにむけた会議（仮）のあり方についての検討
第3回	1月24日	10	① 前回までの振り返り ② 退院後の地域ケアにむけた会議（仮）のあり方についての検討

虐待防止等検討部会

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	8月23日	22	① 高齢者虐待の現状について ② 高齢者虐待防止法における虐待対応について勉強会 ③ 事例紹介（4事例）
第2回	10月24日	9	① 前回研修の振り返り ② 事例に基づく高齢者虐待防止法についての意見交換 ③ 次回の検討内容について
第3回	12月20日	9	① 前回研修の振り返り ② 事例に基づく高齢者虐待防止法についての意見交換 ③ 対応段階における課題・提案

地域課題検討部会

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	9月13日	8	① 地域課題検討部会の進め方について ② 尾鷲市高齢者保健福祉計画（平成24年～26年）について
第2回	11月19日	6	① 介護保険事業計画について（第5期）
第3回	1月24日	7	① 三重県尾鷲保健福祉事務所について ② 尾鷲市地域包括支援センターについて ③ 意見交換

② ケアマネジャー支援

ケアマネジメント力を高める取り組みとして居宅介護支援事業所連絡会議において事例検討及び研修会を開催した。

居宅支援事業所連絡会議 （4回開催）

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	4月19日	28	①精神疾患についての勉強会 ②情報交換会
第2回	7月12日	27	①障害者制度についての勉強会 ②第5期介護保険事業計画について ③包括支援センターからの報告
第3回	11月16日 (紀北町合同)	尾鷲市分 18	①ケアマネジメント力向上に向けての研修会 講師：居宅介護支援事業所 ねむの木 管理者 前田明美 様
第4回	1月17日	28	①事例検討会 ②包括支援センターからの報告



居宅介護支援事業所のケアマネジャーが抱える困難事例等の相談支援を行なった。 件数：平成24年度 108件 前年度48件

(4) 介護予防ケアマネジメント

介護予防事業、予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行い、介護予防ケアプランの作成等必要な支援を行なった。

①要支援1・2の介護予防支援

予防プラン作成および給付管理数

平成24年度 合計2,198件 前年度 合計2,444件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地域包括支援センター	136	148	150	149	145	132
委託事業所	64	49	45	44	41	42
合計	220	197	195	193	189	174
認定者	392	389	388	402	409	411
(支援1)	229	220	222	229	230	230
(支援2)	163	169	166	173	179	181
利用率(%)	56	50	50	48	46	42

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センター	135	129	131	127	130	125	1,637
委託事業所	42	48	44	45	48	46	561
合計	177	177	175	172	178	171	2,198
認定者	419	423	424	416	424	426	4,923
(支援1)	245	249	253	243	248	249	2,847
(支援2)	174	174	171	173	176	177	2,076
利用率(%)	42	41	41	41	41	40	44

②二次予防事業対象者への介護予防支援

尾鷲市が実施した65歳以上の方への基本チェックリストにより二次予防事業の対象となり事業に参加を希望された方への事業内容の説明、健康相談等を実施し事業の利用支援を行った。

平成24年度 85件 前年度114件

事業内容	件数	備考
通所介護予防事業(運動器・うつ・認知症・閉じこもり予防)	47	運動器・閉じこもり予防 うつ予防の複合プログラム
訪問型介護予防事業	9	パンフレットを用いた運動指導、介護相談対応、相談窓口や二次予防事業の周知
電話のみでの情報提供	27	通所型二次予防事業の紹介 生活機能評価の説明
介護保険申請支援	2	

2. 任意事業

(1) ケアプラン点検事業

紀北広域連合主催のケアプラン点検事業に主任介護支援専門員(2名)が4回参加した。

(2) 家族介護支援事業

要介護高齢者を介護する家族の精神負担の軽減と介護者同士の情報の交換を目的にした交流会の開催及び介護者及び介護職員を対象に介護技術についての研修会を開催した。

① 介護者の会の開催 平成24年度 73名 前年度 25名

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	5月17日	5	介護おしゃべり会
第2回	8月23日	1	介護おしゃべり会
第3回	11月15日	4	交流会・ランチバイキング
第4回	2月21日	6	介護おしゃべり会



② つどい交流会の開催

泉美幸氏(HEARTTOHEART)と共催による認知症の方を介護されている方の交流会

平成24年度 4回開催 前年度 4回

③ バランス栄養食展示会の開催

開催月日：平成25年2月21日

参加人数：57名

場 所 ：尾鷲市福祉保健センター 4階多目的ホール



(3) 福祉用具・住宅改修支援事業

①福祉用具の利用支援

福祉用具の利用についての助言や購入支援を行った。

福祉用具購入支援者 平成24年度 22名 前年度 18名

②福祉用具展示会の開催

開催月日：平成25年11月30日～12月1日

参加人数：203名

場 所：尾鷲市市民文化会館 小ホール





③住宅改修の利用支援

住宅改修に関する助言や理由書等の必要書類の作成

住宅改修利用支援 平成24年度 51名 前年度 38名

3. その他

(1) 研修会への参加

- ・各専門職に対する研修会等

(2) 会議への参加

- ・地域包括支援センター運営協議会
- ・三重県地域包括支援センター連絡会議
- ・運営推進会議

地域密着型小規模特別養護老人ホーム：2カ所

認知症対応型共同生活介護：7カ所

- ・養護老人ホーム入所判定委員会

(3) 定例ミーティングの実施（地域包括支援センター内での打ち合わせ）

- ・新規相談ケースについての検討会
- ・各自担当ケースについての報告・相談
- ・各事業の進捗状況の確認及び調整

(4) 困難事例等の検討会議の開催

- ・会議開催件数：平成24年度 18件 前年度22件

2 紀北圏域障がい者地域生活相談支援事業

1. 紀北圏域障がい者地域生活相談支援事業

◇相談支援事業

(1) 個別相談支援

「障がい者のライフステージに応じた生活を支援するために、福祉サービスの利用援助（情報の提供、日常生活の相談・援助等）を障がい者の身近な地域で行う。また、個人が尊重され、地域で安心した生活を継続できるようにするために、関係機関と連携を図り、障がい者の福祉の向上並びに自立支援を行う」という基本方針のもとで、本人・

家族および関係者からの相談を受け、訪問活動、来所相談、電話相談等を実施また、情報共有や支援方針を統一するため個別支援ケース会議を行った。

当支援センターの特徴として、児童分野の社会資源がないため、すまいる教室（療育教室）を行っている点があげられる。幼少期からかわりを持つことで、その後の相談につながりやすい。親子参加であり保護者（特に母親）の孤立を防ぐ役割もある。また修学時期を終え地域社会での日常生活や就労等の支援がスムーズに継続されるメリットがあると考え。平成24年度の相談者の実数は、平成23年度より35名増加して、尾鷲市・紀北町で216名であった。登録者数も184名となった。

①年間相談者実数および登録者数

単位：人

対象者	実人員	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	その他
障がい者	142	21	5	43	67	2	0	4
障がい児	74	5	2	18	0	47	0	2
計	216	26	7	61	67	49		6
昨年度増減	(+35)	(±0)	(+5)	(+7)	(+11)	(+12)	(-2)	(+2)
登録者数	184	25	5	46	53	50	2	3
(内24年度新規)	(54)	(5)	(4)	(12)	(21)	(12)		
(削除数)	(4)	(1)	(1)		(1)	(1)		

②支援方法別の相談のべ件数（４名相談員分）

単位：件

対象者	訪問	来所相談+ すまいる教室	同行	電話 相談	電子 メール	関係 機関	その他	計
尾鷲市	301	121+444	46	392	2	416	78	1800
紀北町	109	69+104	40	415	6	233	58	1034
今年度 実績	410	190+548	86	807	8	649	136	2834
昨年度 実績	302	216+456	77	850	37	654	134	2726

相談のべ件数では、「訪問相談」が増加した。昨年度の反省から訪問に力を入れていこうと取り組んだ結果と言える。地域を回って相談に必要な方を探しニーズを拾い上げ定期的・継続的に訪問をしていくことが支援センターとして重要であり今年度も更に、力を入れていきたいと考える。

昨年、大幅に増加した「電話相談」もそのまま推移している。地域で生活する精神障がいの方の支援方法の一つの形となっている。

すまいる教室の来所相談が増加。これは、実際に発達に気になる子どもが増加していることがあるが保健師や各保育園との連携ができており、気になる子どもを早期に療育教室につなげるような支援がスムーズに動き始めている結果と言える。また、療育を受ける事でその後の発達や成長にプラスになる点が多いということもある。

③支援内容（のべ件数）

単位：件

	述べ件数	尾鷲市	紀北町
福祉サービスの利用に関する支援	321	215	106
障害者症状の理解に関する支援	94	55	39
健康・医療に関する支援	160	101	59
不安の解消・情緒安定に関する支援	696	320	376
保育・教育に関する支援	48	33	15
家族関係・人間関係に関する支援	104	53	51
家計・経済に関する支援	100	80	20
生活技術に関する支援	76	58	18
就労に関する支援	102	56	46
社会参加・余暇活動に関する支援	115	71	44

権利擁護に関する支援	14	10	4
その他	96	70	26
計	1926	1122	804

④ケース会議状況

対象者	身体障がい	知的障がい	精神障がい	児童	重症心身障がい児・者	発達障がい	虐待関連	合計
ケース会議のべ件数	10	17	18	65	2	1	3	116
うち計画相談担当者会議	6	5	7	1	2	1	0	22

個別のニーズの把握や困難ケースにおける共通認識や一貫した支援のためケース会議を開催した。児童では年2回のカンファレンスやチーム尾鷲による個別支援計画作成に伴うケース会議が増加した。今年度より障がい分野でも計画相談が開始され、サービス担当者会議も始まった。

障害者虐待防止法が施行され虐待関連のケース会議も3例あった。

(2) コミュニケーション支援・盲導犬活用支援

- ①視覚障がい者 IT 講習会のフォローアップ・・・今年度は、希望がなかった。
- ②点訳依頼のコーディネート・・・今年度は、要請がなかった。
- ③盲導犬を導入された方の歩行訓練等の支援や場所の提供を盲導犬訓練士の方々とともに行った。三重補助犬普及協会のキャラバン隊の啓発発動に同行した。

◇地域自立支援協議会の部会運営および実態把握・サービス開拓業務

今年も引き続き当事者、家族が参加型の2部会を中心に開催、運営した。また計画相談が始まったことにより「相談支援部会」を専門部会として立ち上げた。「暮らし部会」では防災について検討を重ね圏域内3か所で避難訓練を計5回開催した。また尾鷲市で開催された避難所体験訓練にも参加した。「相談部会」では、とぎれない支援のために就学前から記入しながら成長とともに積み上げていく形の「すまいるファイル」(サポートブック)を作成した。

平成24年度 部会

	会議	日時・場所	メンバー（人数）
1	合同部会	H24年5月12日 尾鷲市福祉保健センター3階	当事者（4）家族（5） 支援者（9）
2	相談部会	H24年6月16日 尾鷲市福祉保健センター3階	家族（4） 支援者（6）一般（1）
3	くらし部会	H24年6月23日 尾鷲市福祉保健センター3階	当事者（5）家族（2） 支援者（6）
4	くらし部会	H24年7月8日 尾鷲市福祉保健センター3階	当事者（1）家族（2） 支援者（4）
5	くらし部会	H24年8月5日 各地区で避難訓練実施	当事者（9）家族（2） 支援者（5）一般（3）
6	相談部会	H24年8月25日 尾鷲市福祉保健センター3階	家族（4） 支援者（3）一般（1）
7	くらし部会	H24年9月8日 尾鷲市福祉保健センター3階	当事者（4）家族（2） 支援者（5）一般（2）
8	くらし部会	H24年10月13日 尾鷲市福祉保健センター3階	当事者（1）家族（2） 支援者（5）一般（2）
9	相談支援 （専門部会）	H24年10月23日 尾鷲市役所	参加者（9）
10	くらし部会	H24年11月11日 各地区で避難訓練実施	当事者（13）家族（16） 支援者（11）一般（5）
11	相談部会	H24年11月17日 尾鷲市福祉保健センター3階	家族（3） 支援者（4）
12	くらし部会	H24年12月1日 尾鷲市福祉保健センター3階	当事者（1）家族（2） 支援者（4）一般（2）
13	相談部会	H25年2月16日 尾鷲市福祉保健センター3階	家族（5） 支援者（5）
14	くらし部会	H25年2月23日～24日 尾鷲市避難所訓練参加	当事者（23）家族（7） 支援者（8）一般（8） 宿泊体験当事者（2）
15	合同部会	H25年3月9日 尾鷲市福祉保健センター3階	当事者（1） 家族（7） 支援者（8）

避難訓練

尾鷲市防災センター見学

かけモック体験



圏域研修

ことばとからだ：遊びからまなぶ	H24年10月21日 尾鷲市福祉保健センター3階	午前 29名 午後 38名
障がい者虐待防止法について	H25年1月12日 尾鷲市福祉保健センター4階	36名

言語聴覚士を講師に招き個別療育と講演会を行い、一日を通して56名の参加があった。障害者虐待防止法の研修会では当事者の方の参加が8名あった。

「当事者に抜きで私たちのことを決めないで」という法改正時のスローガンをもとに障がい当事者や家族の意見を聞きながら地域の課題を見つけ、検討し解決方法を探していくという部会のスタイルを続けていきたい。



◇ピアカウンセラー・ピアサポーター活動支援事業（自主事業）

平成19年度および平成20年度に養成したピアカウンセラー・ピアサポーターが地域で暮らす障がい者に対して、支援活動を行うための体制づくりや助言を行う。さらには、社会資源の少ない紀北地域での地域生活支援の担い手として定着させる。また、本人にとっては就労の機会とする。平成24年度も引き続き、次の活動に取り組んだ。

①入院中の利用者の面会や外出に同行しサポートする。

面会や外出支援3回

②紀伊長島での日中の居場所づくりとして、すずらんサロンの世話人をする活動すずらんサロンは、第2火曜日の午前10時から午後2時半まで、東長島公民館で実施。世話人と利用者を合わせた当事者の参加は11回で37名。

③オレンジが主催のピアサポーター養成講座で「紀伊長島サロン

～発足から現在、そして今後～」のテーマで講師を務めた。

2. 障がい児等療育支援事業（三重県委託事業：尾鷲市社会福祉協議会受託）

利用者数が増加しているすまいる教室の充実として、人員の問題から開催日を増やすことは無理であり、今年度はプログラムの見直しなど内容の充実に努めた。

尾鷲市の保健・福祉・教育の担当者からなる「チームおわせ」の保育所巡回相談は個別支援計画作成につながってきている。



(1) すまいる教室の内容

- ①プログラムの見直しや作業療法士の直接指導の開始
- ②カンファレンスや運営会議によるスタッフの視点の統一
- ③言語聴覚士による指導の継続
- ④風の広場事業による療育内容の充実
- ⑤療育連絡会議の開催による「すまいる教室」の周知と協力依頼
- ⑥関係機関訪問による連携の充実
- ⑦療育物品の活用



(2) 障がい児担当コーディネーター活動の内容

- ①自立支援協議会部会活動で途切れない支援のためのサポートブック作成
- ②福祉サービスの利用相談の対応
- ③乳健委員会への参加による支援対象児の把握
- ④チームおわせへの参加
- ⑤草の実検診や重症心身障害児者相談支援事業への参加とその紹介
- ⑥個別療育・音楽教室・絵画教室などの地域資源の活用状況の把握、親の会への協力
- ⑦特別支援学級担任、介助員の研修指導
- ⑧おもちゃ図書館活動の推進

すまいる教室の参加状況

	実人数 (昨年度)	のべ人数 (昨年度)
尾鷲市	23 (16)	444 (349)
紀北町	8 (9)	104 (107)
計	31 (25)	548 (456)

相談利用（すまいる教室含）の障がいの状況

主に身体障害	4
主に知的障害	21
広汎性発達障害	46
その他	3



3. 日中一時支援事業（尾鷲市・紀北町の委託事業：尾鷲市社会福祉協議会）

平成20年の夏より、夏休み・冬休み・春休みの長期休暇において、家庭外での居場所が必要な障がい児に対して、日中一時支援サービスを提供しており、小学校・中学校卒業後の春休み期間にも対応した。生活習慣が乱れると新学期の対応に時間がかかってしまう障害児の長期休暇時の生活リズム作りや保護者の就労時の預かりとしてニーズが多い。今年度は要望を受けて紀北町の障がい児の受け入れも開始した。スタッフと利用者が1対1か1対2の濃厚な支援体制が必要でありスタッフ確保が難しいことや、人数の増加により事務量も増えている等の問題もある。

午後12時30分から4時30分、重度障がい児童対象。

利用者の1割負担実施。（1日300円）。内容は、預かり保育。

平成24年度の利用者は、小学生～高校生の15名（尾鷲市12名・紀北町3名）（必要に応じて、週1回～5回利用）

4. 地域活動支援事業（各種教室や当事者会の活動支援）

平成24年度の各種教室や当事者会を実施した。

①元気会（視覚障害者リハビリ教室）

月2回 第2、第4金曜日の午後、尾鷲市福祉保健センターにてリハ

ビリ教室を開催し、視覚障がい者の方々の運動を支援した。イチゴ狩りなどの外出行事も行った。

開催24回 のべ参加人数 81名（実人数 4名）

②歩行訓練（社会参加事業で実施）

月1回 歩行訓練士による生活訓練が必要な視覚障害者に対して、白杖を使った歩行訓練を行う。

開催12回 （のべ 22名）（実人数 2名）

③ウイークエンドサークル

月1回 原則第4土曜日に、当事者活動を実施した。ヘルパーを利用して参加している方も多し。土日の日中活動の場として、定着している。

開催10回 のべ参加人数240人（尾鷲市154名、紀北町86名）
実人数 52人（尾鷲市27名、紀北町25名）

④フラワーアレンジメント教室

月1回 原則第4水曜日に、尾鷲市福祉保健センターボランティア室にて、池田比早子先生に依頼して実施した。

開催12回 のべ参加人数 148名（尾鷲市103名、紀北町45名）
実人数 14名（尾鷲市10名 紀北町4名）

⑤音楽教室

月1回 原則第2土曜日に、尾鷲市福祉保健センターにて、癒しの会主催で、新宮在住の音楽療法士の福田朝子先生に依頼して実施した。

開催12回 のべ参加人数 181名（尾鷲市134名、紀北町47名）
実人数 19名（尾鷲市12名、紀北町7名）

⑥おもちゃ図書館

月1回 第2土曜日に、障がい児等の遊び場の開放とおもちゃの貸し出しを行う。

開催12回 のべ利用人数 219名（うち障がい児13名）

⑦はあと畑

毎週月曜日、会員の昼食を作り、障がいのあるメンバーが接客を体験、訓練するサロン

のべ人数84名 実人数6名

⑧その他

- ・尾鷲市、紀北町の「障がい者スポーツ大会」、紀北町の地域交流会、くろしお学園運動会、紀北作業所夕涼み会等に参加した。
- ・はあとの会活動に協力参加した。年間12回参加（のべ84人）

5. 就業・生活支援事業（三重県委託事業：紀北作業所受託）

紀北広域連合障害者支援多機能型事業所 紀北作業所を中心に、地域の3障がいの就業・生活支援として、一般就労支援の他、資格取得や職場体験の支援・就労のための生活支援等を実施している。平成24年度も、前年度に引き続き、就労継続A型およびB型事業所を含めた障がい者の就労支援に取り組んだ。就労に関する全般の相談を広域で実施し、紀北地域の障がい者就労の促進に努めた。

6. ジョブサポーター事務局運営事業（三重県委託事業：尾鷲市社会福祉協議会）

三重県が指定したジョブサポーター養成講座を修了した者が、有償ボランティアとしてジョブサポート活動を実施し、障がい者の雇用促進、職場定着を図る。具体的には、ジョブサポーターの派遣事務、活動支援、打ち合わせ会議の開催、支払いなどを行う。平成24年度のジョブサポーターの事業所等への派遣回数は、1名の障がい者に対して1名のジョブサポーターがのべ10回出向いて指導や調整を行った。

7. 地域移行支援事業（退院促進事業）（三重県委託事業：紀南会オレンジ受託）

精神障がい者の長期入院者の中で、環境を整えば地域生活が可能である方々の地域生活への移行を支援する。紀北地域では、熊野病院オレンジが受託し、そのコーディネーターとして活動を続けてきた。今年度はグループホーム設立に向けての話し合いを中心にを行い、またピアサポーターの養成講座も開催した。

地域移行・地域定着事業が個別給付になったこともあり、この事業は24年度で終了する。

活動内容

- ①病院訪問支援（面談など）
- ②外出同行支援（買い物、公共交通機関利用など）
- ③福祉施設等見学利用同行支援
- ④啓発研修の開催
- ⑤地域移行支援協議会の開催
- ⑤ ピアサポーター養成や支援

Ⅲ 介護サービス部門

1 居宅介護支援事業所

介護保険の指定居宅介護支援事業所として、居の介護サービスやその他の福祉サービス、保健サービスが適切に利用できるよう、利用者自身の立その有する能力に応じて、自立した生活を送るた公正中立な支援を行った。



宅で療サ場での

(1) 業務内容

- ①居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- ②介護保険要介護・要支援認定申請代行
- ③利用者、サービス事業者との連絡調整
- ④介護に関する相談・助言
- ⑤介護保険外の福祉サービスや福祉制度の利用援助
- ⑥介護保険施設への紹介
- ⑦国保連への給付管理及び介護報酬の請求（訪問介護・訪問入浴・通所介護）
- ⑧介護保険要介護認定調査（委託）
- ⑨その他の苦情や問い合わせ

(2) 申請実績

申請者数	平成24年度	前年度
介護保険 新規	24名	28名
介護保険 更新	210名	247名
予防給付 新規	11名	5名

(3) 住宅改修支援事業請求実績

事業名	平成24年度	前年度
住宅改修支援事業	1名	2名

(4) 月別請求額

居宅介護

単位：件、円

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	191	197	189	188	187	189
収入額	2,828,000	2,894,000	2,774,000	2,773,500	2,772,000	2,791,500

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
193	188	175	172	171	172	2,212
2,864,500	2,755,000	2,571,000	2,542,000	2,526,000	2,547,500	32,639,000

※前年度 2,309件 33,741,000円 ※月遅れ請求分は含まない。

介護予防

単位：件、円

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	10	10	8	10	11	9
収入額	46,200	41,200	32,960	48,700	47,476	41,550

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	10	8	10	11	11	117
36,550	43,032	32,430	42,801	44,421	44,421	501,741

※前年度 118件 498,660円 ※月遅れ請求分は含まない。

新規申請者数と更新申請者数の合算が請求件数と差があるのは、申請業務の代行、住宅改修、福祉用具購入のみの利用者、または1ヶ月以上入院されている方で請求に結びつくサービスを利用していない利用者が多い。

利用件数が前年度に引き続き、減少したことに伴い収入減となっているが、死亡者数、グループホームや特別養護老人ホームへの入所者数の増加による減少が続き、新規依頼件数を上回ったのが要因である。

居宅介護支援事業所は要介護者の在宅生活を支援、継続を目的としているが、現在の介護保険制度は在宅サービスの制限が多く、本人や介護者の負担が大きくなっており、施設入所を前提とした契約が増えているようで、入所施設を持たない社協への新規依頼の減少に繋がっていると考えられる。

2 訪問介護事業所

1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業（介護保険）

（1）訪問介護・介護予防訪問介護

介護保険の指定訪問介護事業所として、介護や支援が必要な方を対象に、自宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助のサービスを提供して在宅での生活支援を実施した。予防訪問介護では利用者の増加があったが、訪問介護の利用者減少は続いており、トータルすると利用件数、収入ともに減少した。初回の認定が軽度の介護度では社協を選択してくれる利用者が増えたが、重度になるにつれ施設を持たない社協への新規依頼は減少傾向が続いており、また紀北地域に施設が増加したことにより、在宅生活が短くなり要介護者の利用減少が続いている。



サービス提供責任者による
ミーティングの様子



自宅での入浴支援

①サービス内容

- ・身体介護：食事介助、入浴介助、排泄介助、体位変換、通院介助、その他身体介護
- ・生活援助：調理、洗濯、買物、掃除、その他の家事援助
- ・身体介護と生活援助の組み合わせ
- ・通院等のための乗車または降車の介助

②訪問介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

単位：件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	111	116	113	110	112	113
収入額	3,952,240	4,164,180	4,176,430	4,193,830	4,344,380	4,422,590

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
114	111	107	108	101	104	1,320
4,729,450	4,173,000	4,179,190	4,046,150	3,806,080	4,062,500	50,250,020

※ 前年度 利用件数 1,368 件 収入額 54,186,700 円

③介護予防訪問介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

単位：件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	15	15	16	15	16	17
収入額	225,600	221,600	233,800	219,600	274,500	309,100

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
15	16	13	14	17	16	185
244,000	272,400	223,600	235,900	260,200	244,000	2,964,300

※ 前年度 利用件数 153 件 収入額 2,041,760 円

2. 障害者自立支援事業

(1) 障害福祉サービス

障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの提供では、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援の各事業を実施した。65歳となり介護保険に移行した人が数名あり、利用件数、収入ともに減少した。

月別単位数（実績月）

単位：件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	34	33	30	33	32	30
収入額	821,990	857,100	767,940	890,210	789,930	764,420

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
27	30	28	31	27	24	359
826,050	814,540	778,470	791,060	884,530	800,370	9,786,610

※ 前年度 利用件数 382 件 収入額 10,119,930 円

3. 生活支援サービス「あんしん」(保険外サービス) と一般乗用旅客事業

訪問系サービスの介護保険外事業の一つ、生活支援サービス「あんしん」と一般乗客事業として、ケアプランに連動した輸送保険外の輸送を実施している。



環とし
乗用旅
と介護

あんしん 月別実績
円

単位: 件、

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	18	13	16	19	15	18
収入額	51,000	43,000	36,500	45,500	39,000	44,500

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
17	13	15	17	16	13	190
37,500	34,000	36,000	41,000	42,500	34,500	485,000

※ 前年度 利用件数272件 収入額985,000円

運行利用料月別実績

単位: 件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	110	105	104	101	103	106
収入額	163,440	160,690	158,140	154,950	152,060	141,160

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
101	103	100	97	93	92	1,215
158,320	148,830	137,660	141,980	134,870	129,400	1,781,500

※ 前年度 利用件数1,235件 収入額2,207,890円

3 訪問入浴事業所

1. 訪問入浴・介護予防訪問入浴事業（介護保険）

（1）訪問入浴・介護予防訪問入浴

介護保険の指定訪問入浴事業所として、看護職員や介護職員、オペレーターによって主治医の注意事項を守りながら、利用者の身体状況に応じた安全で快適な入浴サービスを提供した。年間を通して新規利用者の申し込みが少なく、これまでの利用者も減少しているため、前年度に比べ延べ利用人数、収入ともに約20%減少した。

①サービス内容

- ・ 血圧測定等の健康チェック・衣類着脱介助
- ・ 浴槽への移動介助 ・ 入浴介助

メリット

- 身体的負担が少ない
- 徹底した衛生管理
- 1チーム4名体制での手厚い介護
- 期待できるリハビリ効果
- 入浴により、褥瘡の治癒を促進



◇訪問入浴介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

単位：件・円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	86	83	78	78	75	67
収入額	1,048,750	1,015,000	940,230	890,720	920,020	815,000

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
76	74	84	92	89	97	979
930,630	909,380	1,017,520	1,123,130	1,065,870	1,178,750	11,855,000

※前年度 利用件数 1,182 件

収入額 14,927,430 円

4 尾鷲通所介護事業所 (いきいき)

1. 通所介護・介護予防通所介護事業 (介護保険)

(1) 通所介護・介護予防通所介護

介護に頼らない自立した生活を目指し、運動器の機能向上ための事業を実施。器具を使った運動、器具を使わない運動など積極的に取り組んだ。

研修会 (デイサービス協議会) に参加すること等により事業所全体の質の向上に取り組んだ。

① サービス内容

〈共通サービス〉

- ・ 身体の介護・支援に関すること (排泄、移動など)
- ・ 生きがい生活支援 (レクリエーションなど)
- ・ 送迎サービス
- ・ 日常生活における相談・助言

〈選択的サービス〉

- ・ 入浴サービス (通所介護)
- ・ 個別機能訓練サービス (通所介護)
- ・ 運動器機能向上サービス (介護予防通所介護)



通所介護月別実績 (月遅れ請求分含まず)

単位：件・円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	7	6	6	7	7	7
収入額	234,530	197,690	176,270	224,570	240,760	209,880

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
7	6	6	8	8	8	83
228,620	212,250	148,920	224,600	221,380	256,670	2,576,140

※ 前年度 利用件数 93 件

利用金額 2,468,740 円

介護予防通所介護月別実績（月遅れ請求分含まず）

単位：件・円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	18	15	15	15	12	14
収入額	494,220	426,210	426,210	426,210	358,200	382,000

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
18	18	17	14	16	18	190
472,680	472,680	457,100	360,460	427,340	494,220	5,197,530

※ 前年度 利用件数 221件 収入額 6,534,290円

2. 一次予防・二次予防の実施

(1) 一次予防

尾鷲市から委託を受けて、市内在住で65才以上の人を対象に介護予防に対する啓発に努めるとともに、介護予防サービスを実施した。

(2) 二次予防

要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けのサービスや予防のための運動器機能向上に努めた。

単位：件・円

開催数/金額	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
一次予防	4	5	4	5	4	4
	100,000	125,000	100,000	125,000	100,000	100,000
二次予防	8	7	9	4	4	3
	240,000	210,000	270,000	120,000	120,000	90,000

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
5	4	4	4	4	4	51
125,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,275,000
4	4	3	3	3	4	56
120,000	120,000	90,000	90,000	90,000	120,000	1,680,000

前年

度 一次予防 開催数 45回 1,125,000円

二次予防 開催数 46回 1,380,000円

(3) 防災訓練の実施

日時：平成25年3月19日 10時30分～11時30分

内容：利用者の避難誘導及び避難経路の確認（NTTビル）

5 輪内通所介護事業所

要支援・要介護状態となった場合でも、自立した日常生活を送ることがで

きるよう、障がい者も含めて日常生活上の世話や機能訓練を行うとともに、

引きこもり予防や社会参加および介護をしている家族の負担軽減を図るた

めに通所介護を実施した。



1. 通所介護・介護予防通所介護事業（介護保険）

（1）サービス内容

- ①入浴サービス（特別機械浴、一人浴、一般浴）
- ②送迎サービス
- ③生活指導
 - ・健康チェック
 - ・レクリエーション、創作活動
 - ・運動器機能向上(個別機能訓練)サービス
- ④食事の提供

（月別請求額）月遅れ請求分含まず。

単位：件・円

介護予防通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	14	15	17	17	14	14
収入額	515,920	540,600	611,260	611,260	473,320	473,320
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14	15	14	14	14	14	176
473,320	498,000	473,320	452,020	452,020	452,020	6,026,380

通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	36	34	36	33	35	34
収入額	2,361,690	2,486,700	2,404,570	2,377,740	2,101,240	2,089,800
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
36	35	30	29	29	31	398
2,306,820	2,184,800	1,867,280	1,787,380	1,691,620	1,963,770	25,623,410

障害者通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
請求件数	1	1	1	1	1	1
請求金額	64,980	64,980	57,760	64,980	64,980	57,760
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	1	1	1	0	11
64,980	64,980	43,320	64,980	50,540	0	664,240

(前年度請求件数)	介護予防通所介護	177件	金額	6,147,240円
	通所介護	471件	金額	32,418,130円
	障がい者通所介護	12件	金額	721,480円

2. 一次予防・二次予防の実施

尾鷲市から委託を受けて一次予防（にこにこ）として、市内在住で65歳以上の高齢者向けの介護予防に向けた取組が主体的に実施されるような地域社会の構築を目指し介護予防を実施し普及啓発に努めた。

二次予防（元気応援教室）として、要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けの要介護にならないことを目的とした通所型介護予防事業（運動器機能向上・うつ・閉じこもり・認知症予防を目的）の委託を受け、介護予防の実施および普及啓発に努めた。

(月別請求額)

単位：回・円

一次予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催数	4	4	4	4	4	4
収入額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	4	4	4	4	4	48
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000

二次予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催数	4	4	4	4	4	4
収入額	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	4	4	4	4	4	48
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	1,440,000

(前年度請求件数)	一般高齢者事業	48人	金額	1,200,000円
	特定高齢者事業	12人	金額	360,000円

三重県デイサービス協議会に加入し、各種研修に参加してサービスと職員の質の向上に努め、自宅での生活の延長として要支援・要介護者を対象にデイサービスを提供した。通所介護・介護予防通所介護ともに利用者、収入ともに減少。平成23年度から新たに特定高齢者介護予防事業を実施したが、事業収入は前年度から減少した。

IV 輪内高齢者サービスセンター

1. 社会福祉協議会の分室機能

輪内地区の福祉の向上を図るため、次のような事業を行った。

(1) 高齢者サービスセンターを利用した研修会

個人利用 : 0回 団体利用 : 1回

(2) 社協業務の受付窓口としての機能

①輪内地区における募金事業の窓口として事業を推進した。

5月 日赤募金 10月 共同募金

②福祉相談窓口業務として年間12件の相談を受け、市や介護保険関係事業所との連携を図った。

(3) 施設の適正な管理・運営に努めた。

2. 輪内地区食の自立支援事業（市補助事業）

生活支援型配食サービスとして、週3回（火、木、土）、「食事を作ることが困難な高齢者」を対象に、食事内容の検討及び調理を行い各家庭へ配食した。

対象地区	輪内地域 (梶賀、曾根、賀田、古江、三木里、三木浦)
登録者数	(平成24年3月現在) 26名
延べ配食数	2,724食
事業費	1,656,400円
(うち市補助分)	(568,400円)

地区別登録者内訳

(梶賀0、曾根1、賀田11、古江9、三木里3、三木浦1)

3. 輪内地区あったか弁当事業（自主事業）

平成21年度から、食事を作ることが困難で、市の配食サービスの対比とならない住民に対して自主事業としての配食サービスを実施。梶賀町で年間175食を配食。

4. 防災訓練

平成24年9月7日（金）午後1時から3時30分まで、輪内センター利用者及びセンター職員の高台への一時避難と防災無線を使用した市防災センターとの通信

訓練を行った。

- ① 管理者指揮のもと、利用者、火の始末等の確認後、利用者及びセンター職員が高台の一時避難場所まで避難した。
- ② 防災無線（アンサーバック）の動作完了伝達機能取り扱い訓練を実施した。